

リバースエンジニアリングサービス

【名古屋】タキオン(愛知県安城市、杉山恵一社長)は、図面がなくても現物から部品を製作する新サービス「部品複製ドットコム」を始めた。自動車業界向けプレス部品の試作で培った技術とノウハウを生かし、実物測定で設計データを作成する「リバースエンジニアリング」で簡易金型を製作。最短7日間で部品加工まで行う。自動車部品メーカーなどが補給部品用に長期にわたり金型を保有する負担を軽減する。



タキオン、実物から部品複製

本社工場に導入した3Dスキャナーで部品の現物を測定、データ解析し、CADデータを作成する。それを基に金型や治具を設計製作し、補給部品の試作、製造まで一貫対応する。コストと効率のバランスを重視した工法を検討し、1個から数十個まで補給部品を短期間で完成品まで仕

▲タキオンがリバースエンジニアリング事業のため導入した3Dスキャナー

3D測定

▼設計データ作成

最短7日で加工／金型保有軽減

上げる。部品を解析し、機能を付加して復元することも可能だ。主力のプレス部品試作は自動車部品の設計共通化や樹脂化などを背景に、受注が減少傾向にある。このため車の電動化対応と新規事業開拓に取り組んでおり、リバースエンジニアリングもこの一環。

一方、自動車部品メーカーは、量産が終わった車種や旧モデルの補給部品も一定期間、供給しなければならず、金型の保管費用が負担となっている。必要な時に必要な部品を供給する新サービスにより、顧客の負担軽減につながる。